

本事例の基礎データ

カテゴリ	ICT 及び先端技術を活用した指導方法		
学校種	中学校	事例提供者	東村山市立東村山第四中学校
学年	3年生	教科等	国語科 書写
単元名	書写 3年間の学習の成果を生かそう		
主な ICT 機器	・タブレット端末（キーボード付き Chrome OS 機／一人1台）		
授業の概要	<p>行書の手本動画を視聴し、点画の変化や連続性の書き方について特徴を見だし、自身の作品に表現する。</p> <p>作品を写真に撮って保存し、振り返りシートに貼り付けて学習を積み重ねることで、文字を書く学習の効果を高める。</p>		
「情報活用能力 #東京モデル」の位置付け	情報活用	STEP 4	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ多くの事実や確たる根拠に基づき、客観的に分析・判断できる ・クラウド等を用い、情報を効果的に管理・活用できる

本事例における教育の情報化について

【ポイント1】	<p>一人1台のタブレット端末の活用</p> <p>一人1台のタブレット端末を活用することにより、学習に集中することができる。また、書き方のポイントや手本となる字体について調べる活動を通して学びを深めることができる。</p>
【ポイント2】	<p>教科書のQRコードで読み取った動画の活用</p> <p>動画を好きなところで止めたり繰り返し視聴したりすることで、点画の変化や連続性の書き方について生徒一人一人の実態に応じたペースで考察し、書く活動を深めることができる。</p>
【ポイント3】	<p>振り返りシート（ドキュメント）の共有・クラウドでの作品管理</p> <p>作品の画像と振り返りを合わせた振り返りシート作成し、クラウド内で教師と共有する。毎回の授業で確実に自己の記録を振り返りながら学習を進めることにより、学びを着実に積み重ねることができる。</p>

本単元（題材）における指導の流れ

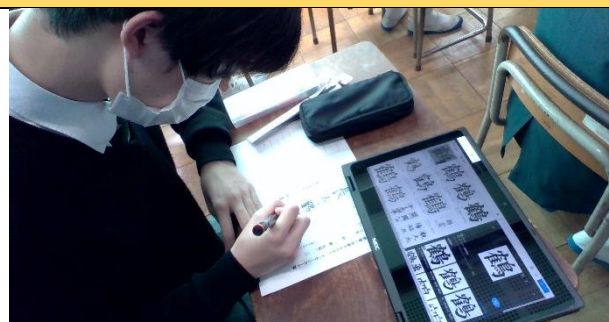
時間	●主な学習活動 ・生徒の活動	○支援・留意点 ☆評価
1	<ul style="list-style-type: none"> ●「古典に学ぶ」を書く。 ・振り返りシートに添付できるようにタブレット型端末で撮影して保存する。 ・成果と課題をドキュメントに振り返り、半紙を提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○Google クラスルームから運筆の動画を自由に見ながら書けるように準備をする。 ☆楷書と仮名の調和を意識して書いている。 【知識・技能】
2	<ul style="list-style-type: none"> ●「深まる秋」を書く。 ・振り返りシートに添付できるようにタブレット型端末で撮影して保存する。 ・成果と課題をドキュメントに振り返り、半紙を提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○Google クラスルームから運筆の動画を自由に見ながら書けるように準備をする。 ☆行書と仮名の調和を意識して書いている。 【知識・技能】
3 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ●作品の写真をドキュメントに貼り、成果と課題について確認する。 ・カードを送る相手、書体を選び、自分の考えたメッセージをインターネット上の書き方を参考にしながら書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りはタブレット端末のドキュメントで行い、メッセージカードのワークシートは印刷して準備をする。 ☆自己の学習を振り返り、成果と課題をまとめ、今後の学習活動に役立てようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
4	<ul style="list-style-type: none"> ・メッセージカードについて確認する。 ・「感謝の言葉」「自分を励ます言葉」「長く親しまれている言葉（引用）」など自分の心を伝えるメッセージを書く。 ●メッセージカードについて近くの生徒と交流する。今回書いた作品を通して日常生活に生かしたいことなど単元の振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆友達作品について、選んだ理由が相手に伝わるよう工夫して説明している。【思考・判断・表現】 ☆共有・交流を通して自分の日常生活に役立てようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 ○後日、提出された作品画像でスライドショーを教師が作成し、作品を紹介する。 ○閲覧のみに設定してスライドを自由に鑑賞できる時間を設ける。

本時の流れ

段階	●主な学習活動・生徒の活動	○支援・留意点 ☆評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を立ち上げ、使用する振り返りシートを開く。 ・振り返りシートの書き方について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末を起動し、振り返りシートファイルを開くまでをまとめて行う。
<p>めあて：今までの学習内容を生かして、効果的に文字を書く。</p>		
展開①	<p>【前半 20 分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●作品について振り返る。 ・作品の写真を配付されたドキュメントに貼り、成果と課題について振り返る。 ・タブレット型端末に自分の作品の写真を貼り付ける。 ・成果と課題を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○机間指導を行い、必要に応じて画像添付等の操作方法を支援をする。 ☆今まで学習したこと（筆使いや漢字と仮名の大きさ、行の中心等）を生かして、効果的に文字を書いている。【知識・技能】
展開②	<p>【後半 20 分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●効果的なメッセージカードを作成する。 ・「メッセージカード作成」についての説明を聞く。 ・カードを送る相手、書体を選び、インターネット上の書き方を参考にして自分のカードを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○メッセージカード作りの課題について相手と目的を確認する。 ○机間指導を行い、筆記具や書体について個別に指導する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で考えたことやこれからの生活に生かしたいことについて振り返る。 ・振り返りシートをクラウド上で共有する形式で提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数点の作品案を紹介し、作品の意図を共有する。 ☆作品について理由や工夫を説明し、今後の学習活動に役立てようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

授業の実際

【ポイント1】 ●一人1台のタブレット端末の活用



一人1台のタブレット端末を活用することで、自分の学習に集中することができ、書き方のポイントや手本となる字体について調べながら学びを深めることができた。

【ポイント2】 ●教科書のQRコードで読み取った動画活用



点画の変化や連続性の書き方について、動画を好きなところで止めたり繰り返し視聴したりしながら、自分のペースで考察して書く活動ができた。

【ポイント3】 ●振り返りシート（ドキュメント）の共有・クラウドでの作品管理



作品の画像と反省を合わせた振り返りシートを、クラウド内で教師と共有する。毎回の授業で自己の学習を振り返ることが容易になり、学びを着実に積み重ねることができた。

今後に向けて

●振り返りシート等の学習の積み重ねにタブレット端末を活用する

教師、生徒ともタブレット端末を日常的に活用するなど機器を扱う技能を身に付け、運筆動画やデジタル教科書を活用するとともに、学習の振り返りを効果的に行う指導を継続する。

●デジタル美術館やデジタル展示会を企画し、写真や動画を活用する

授業後にスライドショーによる鑑賞を取り入れ、デジタル展示会を気軽に行えるようにする。さらに、保護者も鑑賞ができるよう個人情報に配慮して展示するなど、開かれた教育活動を行うよう学校全体で積極的に取り組む。